

## 平成28年度「市長と語り合う会」について

### 1 出席者状況

開催日（曜日）	会場	時間	出席人数		
			男	女	計
1月18日（水）	高津地区振興センター	19:00～20:10	35	5	40

#### ○市側出席者

市長、副市長、政策企画局長、総務部長、秘書広報課長

### 2 会の概要

#### ○開会（秘書広報課長）

- ・ 会の趣旨説明
- ・ 出席者紹介

#### ○あいさつと市政運営の説明（山本市長）

##### 1. 4つの重点分野

###### ①産業振興と交流拡大

産業振興を図るうえでは、高速交通網を充実させることが必要となる。

高速道路については、昨年末に山陰道西村～三隅間が開通し、三隅・益田道路も着々と工事が進んでいる。益田から萩間においても優先整備区間の一つである小浜～田万川間5kmが計画段階評価に進み、住民アンケートが行われるなど着実に進捗しており、引き続き事業化に向けた取組みを強化していきたい。

もう一つの高速交通網である萩・石見空港については、東京線2往復運航が継続されることとなった。季節限定運航となっている大阪便を含め、今後もさらなる利用促進を図り、路線の維持に努めたい。

交流拡大の面では国際交流に力を入れて取組みたいと考えている。平成3年に友好交流議定書を締結した中国寧波市とは平成20年を最後に交流が途絶えていたが、去年は3件の民間交流が行われた。こうした流れを定着させることによって、経済や観光の面でも効果を上げていきたいと思っている。

###### ②安心して暮らせる基盤づくり

2025年には「団塊の世代」の方々が75歳以上の後期高齢者となられることから、今よりさらに高齢者福祉を手厚くする必要があると思っている。今後はその点を見据えた施策を進め、住民の皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための基盤づくりに取り組むたい。

さらに、交通安全や防犯、防災についても関係機関と連携して取り組んでいきたい。

###### ③教育・文化の振興

現在益田市は「ひとづくり」に力を入れて取り組んでおり、昨年3月には指針となる「ひとづくり協働構想」を策定した。これは、「次世代を担う人材」、「しごとを担う人材」、「地域を支える人材」という3つの人材育成をそれぞれ関連づけながら進めていくものである。今後も関係機関と連携し、本構想に基づく施策の推進とキャリア教育のさらなる充実に取り組むたい。

文化の面で言えば、益田市は貴重な歴史遺産や芸術文化の素材に恵まれており、多くの市民や文化団体の方々が積極的な活動を展開されている。今後もこうした方々と連携して益田の文化の素晴らしさを広く発信し、魅力あるまちづくりに繋げていきたい。

###### ④行財政改革

益田市の財政状況は今後さらに厳しくなることが想定され、これまで以上に歳出の削減と歳入の確保に努めなければならない。こうした中で現在ふるさと納税の奨励に取り組んでいる。一昨年12月には制度の改正と返礼品の充実を行い、結果、26年度に約1,600万円であった寄附額は27年度に4,800万円となり、さらに本年度は現時点で1億2,000万円を超えたところ。今後も

さらに魅力を高めて、財源の確保に努めていきたい。

また、市役所内部でも職員の仕事に対する向き合い方を今より積極的なものにするための取組を進めている。一つには、職員が仕事の中で改善した事例を発表し共有する「業務改善事例発表会」を昨年度から開催している。もう一つは、本年度より職員に自分のやりたい仕事の内容等を提案させる「人事提案制度」に取り組むこととしている。こうした仕事のやり方、働き方をより良いものにしていくことも行財政改革の大事な点であると思う。

#### ⑤その他

益田市は3年後に開催される東京オリンピック・パラリンピック自転車競技ロードレースの事前キャンプ誘致に取り組んでいる。現在は関係する様々な団体と実行委員会を組織し協議を進めており、今後も市民と行政が一丸となって誘致活動を進めていきたい。

### 3. 意見交換

質問項目は以下のとおり。詳細は、別紙のとおり。

- ①野良猫対策について
- ②広島への道路改良等について
- ③企業誘致について
- ④カジノ誘致について
- ⑤小型バスの導入推進について
- ⑥市老人クラブへの補助金について
- ⑦市職員の給料表について
- ⑧地域自治組織について
- ⑨市職員の自治会活動への参加について
- ⑩グランドゴルフ場の整備について

○ 閉 会 （秘書広報課長）

## 平成28年度「市長と語り合う会」

〔会場 高津地区振興センター〕 開催日時：平成29年1月18日（水）19:00～20:10

要 望 事 項 等	回 答
<p>①野良猫対策について                      長年、多くの野良猫による糞尿等の被害に困っている。現在は動物愛護法等の関係でその処分等に一定の規制が加わっており、行政に相談しても具体的な解決策が見いだせない状況。                      市が率先してこうした猫の保護施設を設けるなど然るべき対策を講じてほしい。</p>	<p>①実態については理解できるが、対策となる良い案を持ち合せてない状況。関係する機関と話しをしてみたい。</p>
<p>②広島への道路改良等について                      大阪に住む家族が帰省する際、広島まで自家用車で送迎している。個人的には、山陰道で松江や萩に道路を通すよりも広島へ通す方が効果的であると考えている。長期的には広島への道路改良、短期的にはバスを小型化して増便するような方法を検討すべきと思うがどの様に考えるか。</p>	<p>②高速道路については、昭和62年に全国で必要な高速道路網を整備する計画策定がなされ、山陰道はその計画に含まれているが、未だ益田～萩間は事業化されていない「予定路線」となっている。この益田～萩間の事業が前進すれば、鳥取～下関のルート開通に目途が立つので、その段階で益田から山陽方面への道路整備も検討する必要があると思っている。</p>
<p>③企業誘致について                      市の人口を増やすには企業誘致が不可欠であると思う。現在の企業誘致の状況はどうか。</p>	<p>③益田に進出を検討される企業も現在幾つか話があり、こうした話しが具体的になるよう取組みを進めていきたい。また、地元企業が活発に事業運営をされることも雇用拡大の面では企業誘致と同様な効果があると考えており、その支援にも継続して取組みたい。</p>
<p>④カジノ誘致について                      昨年末にカジノを中心とする統合型リゾート整備推進法（カジノ法）が成立した。様々な課題があるにせよ、地元の活性化のため、個人的には市がこれに取組んでもよいと思っている。                      市長の考えはどうか。</p>	<p>④現在、この制度を活用して誘致を進める動きがあるのは、東京、大阪、沖縄など条件を備えた大都市が中心となっている。                      益田市には空港があるが、「空港があるからカジノを誘致する」ということにもならない。本市の状況を考えると厳しいものがあると思う。</p>
<p>⑤小型バスの導入推進について                      近年、高齢ドライバーの事故が問題化しているが、生活の面を考えると地方では免許証を返したくても返せないのが実態。                      都会では100円で管内を巡回できる小型のバスが走っているが、益田のバスは大きい割に利用者が少なく、無駄を感じることもある。小回りのきく小型バスを導入する方法があれば、それが高齢者の免許証返納にも繋がるのではないかと思う。                      どう考えるか。</p>	<p>⑤バスの小型化は、その対応が可能かどうかについて事業者と話しをしていかなければならない。                      一方で、100円で市内を巡回するバスの運行については、益田のような市内中心部でも人口が少ない地域になると採算が取りにくいのではないかと思う。まずは、現在運行するバスの幹線路線の赤字が大きいので、この赤字を減らす努力を事業者と一緒に考えていきたいと思う。</p>
<p>⑥市老人クラブへの補助金について                      市から交付される老人クラブへの補助金額（1人当たり）は、県内8市を比較すると、26年度が7番目、28年度は最下位となっており、一番高い自治体の1/3程度の額に止まっている。今後高齢者社会への取組みを進めるなか補助金の増額を考えてほしい。</p>	<p>⑥歳入が減少するなか、各課には厳しい予算編成を強いており、その中で個々の補助金を増額することは困難な状況にある。                      現状はよく理解したので今後の検討課題としたい。</p>

<p>⑦市職員の給料表について 市広報で市役所職員の給料等を見る限り、一般職も現業職も同じ給料表が適用されているように見受けられる。通常、一般職と現業職では仕事の質や責任の度合いも異なり、それを同一扱いにするのは問題があるのではないか。 行財政改革に取り組む中、見直すべきと考える。</p> <p>⑧地域自治組織について 地域自治組織の運営等を検討するうえで、市が条例のなかで一定の指針を示すべきと考えるが、どうか。</p> <p>⑨市職員の自治会活動への参加について 自治会の仕事は非常に多岐にわたっている。市職員には住民を主動する立場で、今以上に地域の自治会活動に参加してほしいと思うが、どうか。</p> <p>⑩グランドゴルフ場の整備について 高齢化が進む中、住民が集うことのできるコミュニティ施設が必要となる。グランドゴルフ場が美都町にあるが距離的に遠い。適地があれば近くに整備してほしい。</p>	<p>⑦基本的に市が行う業務については、民間でできるところは民間に委託するなり、民間に全てまかせる方向で考えており、特に現業職は仕事の内容上、民間でもできる分野が多いため、現在その話し合いをしているところ。 ただし、賃金等の条件面を引き下げる場合は労使間の合意がないと実施できないので、まずは、現業職の職務等に関して問題の整理をしている。</p> <p>⑧同じ地域自治組織でも人口規模の大小によって組織のあり方が異なってくると考えており、条例で一律に組織の条件等を決めるのは無理がある。 今後各地域で組織化が進めば共通点も見えてくるので、その段階になれば共通の要素を抽出し、条例制定を行うことも可能ではないかと思う。</p> <p>⑨職員には日頃から自治会活動へ積極的に参加するよう話をしている。 職員である以上、住民としての責任を果たした上で仕事に取り組むことは重要なことであり、こうした意見があったことを伝えていきたい。</p> <p>⑩グランドゴルフ場を整備するには様々な面でハードルが高いが、地域で気軽に集い、楽しめる施設は大事であると思うので少しずつ整備を進めていきたい。</p>
---	---